

井原市立井原市民病院



井原市の草花 パンジー

病院だより

日本医療機能評価機構 病院機能評価3rdG:Ver2.0認定

No. **47**

2021 (令和3)年
8月発行



新型コロナウイルスワクチン集団接種会場



外来患者誘導システム導入



市政だより出演



マリーゴールドの植え替え作業

地域とともに歩み、より愛される病院を目指して

内科

循環器内科

小児科

外科

整形外科

眼科

麻酔科

消化器外科

脳神経外科

耳鼻咽喉科

リハビリテーション科

放射線科

皮膚科

泌尿器科

婦人科

救急科

巻頭言

新型コロナウイルス感染症が全世界で猛威をふるい、加えてウイルス変異株の影響も重なり、岡山県内も2021(令和3)年4月から5月にかけての第4波では、急激な患者の増加で医療体制は逼迫し、5月16日には緊急事態宣言が発出され、日常生活はさらなる制限を余儀なくされました。井原市でも患者発生が続きましたが、危惧していたクラスターは今のところみられていません(7月下旬現在)。

7月23日からの「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催の是非については、本稿執筆時点では世界中で盛んに議論されていますが、本誌発刊時にはどのように決着し、アスリートを含め皆さんが、無事に過ごしているのか、また、無事に過ごせたのか、とても心配な状況です。

さて、感染対策のゲームチェンジャー(切り札)としてのワクチン接種もすすんでいます。当院では、3月12日の院内職員の接種開始を皮切りに、4月19日からは市内の医療従事者、5月20日から65歳以上の高齢者に対する個別接種、5月23日から集団接種が行われています。通常業務をこなしながらの追加業務となっていますので、職員の負担は少なからず大きいものがありますが、**地域唯一の自治体病院**であることを胸に刻みつつ、各部署が一致協力して円滑にワクチン接種がすすむよう力を出し合っています。

診療部の状況ですが、長年勤務されていた小児科の松原医師が3月末に定年退職され、新たに井上医師の外来診療が開始されています。さらに、福山市民病院小児科専門医の診療支援(月曜午後・木曜午後)も継続しています。また、昨年10月から岡山大学病院呼吸器外科専門医による外来診療(金曜午前)、今年4月からは川崎医科大学附属病院心臓血管外科専門医による外来診療(第1・3・

5月曜午前)も始まっており、徐々にではありますが**診療体制は充実**しつつあります。

しかし、当院の常勤医も年々高齢化してきており、診療機能を維持、発展させていくためには、若手常勤医に来ていただくことが重要です。幸い今年4月から、岡山大学医学部地域枠コース出身の梶谷聡先生が**内科常勤医として赴任**され、すでに大活躍されています。心強い限りです。また今年度は、岡山大学病院から**初期臨床研修医**の「地域医療研修(2か月間)」も受け入れています。

最後になりますが、国が推進している「**地域医療構想**」の中での**公立・公的病院の再編統合問題**についてです。コロナ禍のため今は少し見えにくくなっていますが、基本的に方向性は変わらないと思います。この大きな変革の流れの中で、当院は、地域の中核的な公立病院として、現有の限られた医療資源を有効に活用し、モチベーションを維持、向上しながら、経営状況を悪化させずに、市民の皆さんの医療ニーズに答えていく、という難題により一層、一丸となって取り組んでいかなければなりません。なかなか難しい課題ですが、患者さんを中心として、多職種でのチーム医療を推進し、医師会の先生方や、高次医療機関との連携をさらに強化して、『**地域になくはない病院**』として地域住民の皆さんから、もっと理解され信頼される病院になるよう、努力を重ねていかなければならないと常に考えています。

今後ともご支援とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



診療部長
しまだ もりよし
島田 百利三

うれしいお知らせ

小児科診療充実へ

2021(令和3)年4月より、前任の松原医師に代わって、毎週の火曜日・金曜日の小児科診療を担当していただいていた井上直樹医師が、このたび7月1日をもって、当院小児科の常勤医師として入職することになりました。右記の案内のとおり、従来と同様に福山市民病院の協力も得ながら、平日の午前と午後に毎日診療を行いますのでご利用ください。



小児科医長
いのうえ なおき
井上 直樹

受付時間

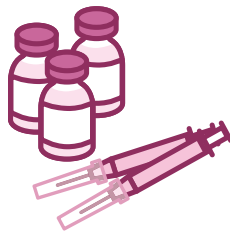
月曜	午前	8:30~11:30
	午後	13:00~16:00
	予防接種(予約)	13:30~15:30
火曜	午前	8:30~11:30
	午後	15:00~16:00
	乳児検診(予約)	14:00~15:00
水曜	午前	8:30~11:30
	午後	13:30~16:00
木曜	午前	8:30~10:00
	午後	13:00~15:30
	予防接種(予約)	13:30~15:30
金曜	午前	8:30~11:30
	午後	13:30~16:00

※詳しくは16ページの外来診療担当医表でご確認ください。

井原市ワクチン接種対策室



新型コロナウイルス
ワクチン接種対策室次長
井原市民病院副院長
池田 悦子



2021(令和3)年2月1日、井原保健センター内に新型コロナウイルスワクチン接種対策室が設置されました。井原市のワクチン接種体制を簡素かつ効率的に構築するために、看護師や保健師、管理栄養士、事務職のメンバーが招集され、4月1日より本稼働しています。

私はワクチン接種対策室次長として、対策室の統括補佐を担っています。井原市医師会や井原市民病院との連携を強化し、ワクチン接種体制を構築する役割です。

対策室には、3月からコールセンターが開設され、5月10日には市内医療機関と集団接種の予約を岡山県下で一斉に開始しました。「電話が繋がらない」「インターネットが繋がらない」など、この日に起こった混乱は他市と同様に凄まじいものでしたが、現在(7月13日時点)では大きなトラブルもなく、市内医療機関のご協力のもと、12,000人以上の方が1回目の接種を終えています(2回目接種者数は約7,700人)。

また、高齢者接種から途切れることなく、基礎疾患を有する方への優先接種と12～64歳の方の接種に移行でき

るよう体制整備をしているところです。

対策室での仕事では、さまざまな発見があります。行政業務初心者私を対策室のメンバーは大きな温かい心で見守ってくれています。いつもさりげなく助けてもらい、毎日感謝の日々を過ごしています。ワクチン接種事業が終了するまで、少しでも多くの取り組みに関わり、市民の皆さんのお役に立てるよう努力いたします。



当院における

新型コロナウイルスワクチン個別接種の予約方法について

予約方法は3種類あります。いずれの予約にも、郵送された接種券が必要です。お手元にご準備のうえ、手続をすすめてください。

Web(インターネット)での受付



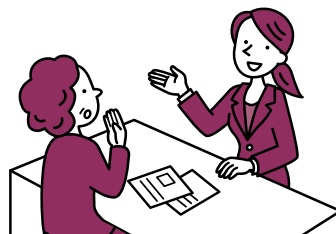
岡山県新型コロナウイルスワクチン接種予約サイトで予約をしてください。

▶こちらのQRコードからアクセスしてください。



<https://v-yoyaku.jp/330001-okayama>

院内窓口での受付



平日の9:00～12:00

ワクチン接種予約受付窓口で申し受けます。

電話での受付



平日の13:00～16:00

予約受付専用電話(0866-62-1231)で申し受けます。

表紙写真について

上左・上中：新型コロナウイルスワクチン集団接種会場 — 関連記事：3ページ
上右：外来患者誘導システム導入 — 関連記事：12ページ
下左：市政だより出演 — 関連記事：8ページ
正面玄関前花壇のマリーゴールド — 関連記事：15ページ

知っていますか？ 敗血症

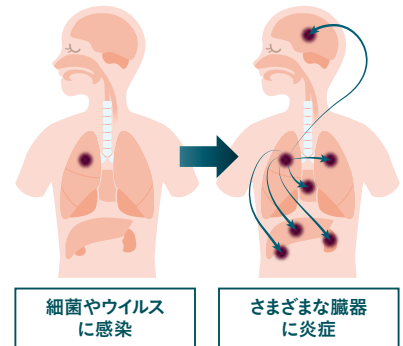
岡山大学学術研究院医歯薬学域 高齢者救急医療学講座 講師 ふじさきのりとも 藤崎 宣友

初めまして、岡山大学高齢者救急医療学講座の藤崎です。不定期ではありますが、井原市民病院で診療をさせていただいております。

さて、至る9月13日は何の日かご存知でしょうか？あまり有名ではないのですが、“世界敗血症デー”なのです。敗血症って何？って思われますよね。敗血症とは、**感染症によって体が過剰に反応することで、全身の臓器が傷害**され、致命的になってしまう病気のことなのです。65歳以上で最も起こりやすいとされており、感染症の原因は細菌、ウイルス、真菌(カビ、酵母など)なんでもありで、当然、今はやりの新型コロナウイルス感染症も含まれます。重症になると、長期的な後遺症(臓器障害、認知機能障害、筋力の著しい低下など)が残る可能性も高くなります。日本では、わかっているだけでも年間約10万人の方が、敗血症で死亡しており、急性心筋梗塞の約3万5千人と比べても、とても多いことがわかりただけけるかと思えます。

大事なことは??? そうなんです、**予防が一番大切**です。手洗い、うがい、適度な運動とバランスの良い食事、口腔内の清潔を保つなど、風邪をひかないような生活習慣が良いですね。それに加えて、**ワクチンの予防接種**(インフルエンザ、肺炎球菌ワクチン)も予防のためには重要です。症状の多くは、「寒くないのに体がブルブル震える、意識がもうろうとする、息が速くて息切れする、皮膚がじめっと湿っている、脈がいつもより大分速い」などがあり、早めに気づいて治療を始めると悪化を防ぐことができます。

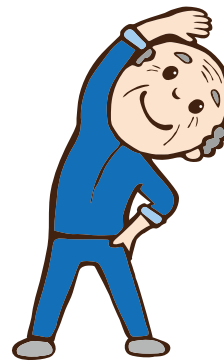
井原市には、ご高齢の方が多くおられます。慢性的な基礎疾患とは上手にお付き合いをしながら、健康寿命を伸ばすための参考にしていただけると幸いです。



手洗い・うがい



バランスの良い食事



適度な運動



ワクチンの予防接種

レポート

退院支援

～入院から退院後まで～

超高齢社会を迎えている現在、高齢者のみの世帯の増加、家族内での介護の限界、さらには糖尿病などの慢性疾患や脳梗塞などの後遺症により、退院後も継続した医療管理や看護・介護を要する患者さんの増加が年々顕著となっています。

当院でも、そうした患者さんやご家族が、退院後に安定した療養生活を送ることができるように、院内外の多部門・多職種と連携して退院支援を実施しています。今回は、その一部をご紹介しますと思います。

PHASE
1

外来



入院決定ののち、多くの入院患者さんの中から、退院支援が必要である患者さんをできるだけ早期に特定する必要があります。

外来看護師の視点

鈴木 理恵 看護師

私たち外来看護師は、患者さんが“住み慣れた生活の場”に帰ることができるのか、そのために一番必要とされている支援は何かなどを中心に、個々の患者さんの病状や生活背景を幅広く見ながら確認していきます。また、通院されている患者さんご家族間での対話や、いつもと違う様子の変化といった小さな気づきを大切に、そこから浮かんでくる皆様のご要望に沿った支援を心がけています。入院時には、それらの情報を病棟看護師に申し送りしています。



一般病棟看護師の視点

妹尾 正子 主任看護師

治療を進めながらも退院支援について意識をしています。入院前の生活はどのようにされていたのか、家族構成はどうか、どなたが窓口か、どのようなサービスを利用した介護や療養を希望されているのかなど、入院時から患者さんやご家族に確認させていただきます。コロナ禍で面会制限の状況もありますが、定期的に電話で、ご家族に状況報告を行うとともに、退院後の生活についての意向を再確認しています。



PHASE
2

入院

病棟看護師は、短時間で簡単に退院に向けてのチェックをするために、スクリーニングシートを作成しています。

PHASE
3

入院前の生活状況の把握を行い、問題点などを抽出します。



薬剤師の視点

持参薬は、入院時に一旦すべてお預かりして、内容や数を確認しています。飲み忘れがないか、重複した薬剤はないか、誰が管理しているのか、副作用はないか確認しています。



管理栄養士の視点

入院時の体重や血液データなどから、**栄養状態を把握**します。入院前の食事内容や摂取状況は、今後の治療に関わる重要な情報になります。また、介護状況の評価にもなります。病棟ごとに担当の管理栄養士がおり、必要な患者さんには面談をさせていただきます。

PHASE

4



入院前の生活や入院中の状況から、退院後の病状経過や身体状況、必要となる医療管理やケアなどを予測し、入院前と退院後の生活でどのようなことが変わるのか、退院前の住居のままで療養生活が可能であるか、患者さんやご家族だけで医療管理やケアが可能であるかなど、退院後に起こりうる問題を抽出し、対策を検討しています。

すべての入院患者さんに関して、入院1週間以内に初回カンファレンス(会議)を実施しています。看護師、社会福祉士、薬剤師、管理栄養士、リハビリ担当者などが参加し、それぞれの視点からの問題点を共有しています。

PHASE

6

地域包括ケア病棟

当院では、4階病棟は一般病棟、3階病棟は地域包括ケア病棟と役割が分かれています。入院直後の急性期治療は一般病棟で行い、症状が安定すると退院をしていただくことになっています。しかし、すぐに在宅や施設に移行するには不安がある患者さんに対して、復帰に向けて診療・看護・リハビリテーションを行うことを目的とした病棟が、地域包括ケア病棟です。

地域包括ケア病棟看護師の視点

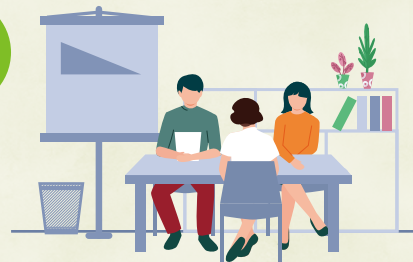
佐藤 真理子 主任看護師

地域包括ケア病棟では、一般病棟からの転棟や急性期の治療を終えて転院してこられる患者さんがほとんどです。一般病棟から始まった退院支援をつないで無事に退院できるようにする役割を担っています。患者さんやご家族のご意見を尊重し、安心して希望する生活に戻れるよう、多職種で連携しています。また、院外の医療・介護スタッフとも緊密に連携し、患者さんが退院後の生活へスムーズに移行できるよう、退院前訪問、退院後訪問なども行っています。



PHASE

5



看護師や社会福祉士が、患者さんやご家族と面談あるいは電話でお話を伺っています。

社会福祉士は、患者さんやご家族の意向の確認、実際に利用できる医療・福祉制度やサービスの情報収集・提供、ケアマネジャーや施設との連絡調整など様々な役割を担っています。

社会福祉士の視点

秋田 拓也 社会福祉士

ご自宅に退院される場合には、生活を継続していくうえで、どのようなサービスがどの程度必要となるか、現在の介護認定でどのくらいのサービス利用ができるのかなど、担当ケアマネジャーと相談して退院日までに準備を行います。また、施設に入所される場合には、どの施設が患者さんの状態や意向に合っているか、利用料も考慮しながら検討し、提案しています。



PHASE

7

地域包括ケア病棟で重視されているポイントの一つがリハビリテーションです。ご高齢の患者さんが多い当院において、治療の中で起こる日常生活動作の低下は在宅復帰のハードルを押し上げます。例えば、入院前は自らトイレに行き排泄ができていた患者さんが、退院時にはトイレへの歩行ができず、ポータブルトイレを使用している状況だと、患者さんやご家族はどのように思われるでしょうか。

リハビリ担当者の視点

川上 浩一郎 主任作業療法士

誰も「入院生活が終われば、住み慣れた我が家に帰りたい」という思いがあるのではないのでしょうか。リハビリテーション科では、患者さんごとに在宅復帰の可能性を考えつつ、それに沿った具体的な短期目標、長期目標達成に努めることを目指しています。患者さんの心身機能が、退院数ヶ月後にどうなるか、どうすれば心身機能の維持、向上ができるかの予測には苦勞しますが、患者さんごとの目標を明確にし、心身機能改善の限界を見極めることが大切だと感じています。



PHASE

8

退院に向けて

退院先について患者さんやご家族の意向を確認しながら、検討を進めます。社会福祉士や看護師は治療やリハビリテーションの進捗状況を確認し、面談や電話連絡で、退院先の決定を支援しています。特に社会福祉士は、患者さん・ご家族・病院と地域のサービスを調整する役割を担っています。

自宅?
施設?

PHASE

9

退院先が決定したら、退院後の生活に向けた準備を加速させます。一つは医療やケアに関する支援です。患者さんやご家族が、医療管理やケア方法をご自宅でもできるように、できる限り簡略化したうえで、入院中に指導を行います。

もう一つは医療・介護・福祉制度やサービスの調整、退院後の療養環境の準備です。入院時から介護保険の申請状況は確認しています。必要がある場合は区分変更などもお勧めしています。

コロナ禍で介護調査の来院をお断りしていましたが、新たな方法としてインターネットを利用した調査が始まりました。



PHASE

10

そろそろ退院日が決まるころです。退院に備えて、各種指導が続きます。



薬剤師の視点

しばた ゆうこ
柴田 裕子 薬剤師

1, 服薬指導

どんなに適した薬が処方されていても、正しく服薬できなければ、その効果は十分に発揮されません。このため、入院中に薬の効能と副作用をお伝えし、「薬の必要性和服薬管理の方法」について指導・確認をしています。これらのことをご理解いただくことで、何か症状が出たときに、「薬が原因かな？」と頭に浮かべば、一足早めに対処できる場合があります。

2, 患者さんの生活状況に応じた用法への変更提案

患者さんにとって、より服薬しやすい方法を、医師に提案しています。

3, 退院後の服薬管理者を確認し、一包化や薬の管理に役立つサポートグッズを提案

退院後も、安全で、安心して服薬していただけるよう、支援しています。



管理栄養士の視点

やまむら あやこ
山室 文子 管理栄養士

入院食の食事形態や内容は、患者さんの回復に合わせて適切な内容になっているか慎重に検討しています。また、退院された後も、安全に、かつ治療の一環として食事をしていただけるよう、患者さんやご家族への**栄養指導**（糖尿病の食事療法や嚥下調整食の作り方、補助食品の紹介など）に力を入れ、医療介護施設等への栄養情報提供書の発行なども行っています。



リハビリスタッフの視点

退院後自宅に戻られる予定の患者さんが、円滑に在宅復帰できるよう、必要時には、ご自宅に訪問させていただき、家屋内外の段差・配置などの状況把握、住宅改修の提案、ご自宅での動作指導を実施しています。

PHASE

11

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

いよいよあと数日で退院の予定です。特にご自宅へ退院される患者さんで担当のケアマネジャーから提案のあった患者さんには、担当者が一堂に会するサービス担当者会議を実施することもあります。

PHASE

12

退院です

退院は一見ゴールのように思いますが、患者さんやご家族にとっては、**療養生活の新たなスタート**といえる状況です。

当院がかりつけの場合は、外来に通院していただくことになります。また、訪問看護や訪問リハビリのサービスを利用される方もおられます。

かかりつけが別の医療機関である場合は、主治医から診療情報提供を行い、連携をしています。



まとめ

入院時から（最近では外来通院時からともいわれています）退院支援は開始されています。まだ考えられないと言われる方もたくさんいらっしゃいますが、まずはどうしたいか、どうなりたいか教えてください。職員一丸となり、ベスト・ベターは何かを考えます。治療段階から、退院後の生活を患者さんやご家族にイメージしていただくのは難しいかもしれませんが、「患者さんのために井原市民病院ができることを、精一杯やる」という気構えを持って、入院から退院まではもちろん、退院後の支援も積極的に実施しています。

● 井原放送「市政だより」に出演

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当院で定期的に開催していた健康講座（「健康教室」、「糖尿病教室」、「子育てサロン」、「出張講座」）は、今なお休止状態にあります（2021（令和3）年8月より一部再開）。このような状況の中、地域の皆さんに「役立つ医療の情報を提供」する新しい方法として「井原放送にて放送中の行政番組『市政だより』の新コーナー『いきいき健康講座』に出演」させていただくこととなりました。ぜひとも、ご高覧ください！



- 井原市民病院の担当月…… 2021（令和3）年6月・9月・12月、2022（令和4）年3月の予定
- 放送時間…… 毎週火曜日の夜と、水曜日の午前中に、井原放送にて繰り返し放送中

▶放送した動画は、当院のホームページでもご視聴いただけます。



▼2021（令和3）年6月放送内容

栄養管理科

今回は、「減塩」についてのお話をさせていただきました。

皆さんは、成人が一日に摂取して良い塩分はどのくらいかご存じでしょうか？

日本人の食事摂取基準では、**成人男性は1日に7.5g未満、成人女性は6.5g未満**とされており、高血圧と診断された方は、1日摂取量6g未満が推奨されています。

しかし、1日の塩分量を言われても、なかなかピンときませんよね？

例えば、ラーメンなどの麺類1杯分の塩分は、麺とスープで5~6gはあるといわれており、1杯完食すると、これだけでほぼ1日の塩分量をとってしまうことになるのです。

現在では、ほぼすべての市販品に栄養成分表示が義務付けられており、「食塩相当量」として記載されていますので、ご自分がよく食べるものの中に塩分がどのくらい入っているかを確認して召し上がることが大切です。

では、ご家庭での味付けに関しては、いかがでしょうか？

すべての味付けを薄味にすると、食欲がなくなる場合があり、もともと食べる量が少ない方には注意が必要です。図のように、おかずが何品かあれば、美味しい味付けと薄味とを組み合わせるのも一つの方法です。

そこで今回は、井原市民病院で実際に作っている入院食の減塩レシピ、魚のカレー風味南蛮漬けをご紹介します。



カレーの風味で薄味をカバーしているので、患者さんにも人気の1品です。さっぱりとしていて美味しいですよ。ぜひ、皆さんのご家庭でも試してみてください。

魚のカレー風味南蛮漬け



【材料】
魚60g(白身魚がおすすめ)、
カレー粉0.4g、小麦粉4g、揚げ油
玉ねぎ20g、にんじん10g、きゅうり10g

【調味液】
砂糖1.5g、みりん2g、酢5g、醤油3g
調味液は、醤油を控えめにし、酢をきかせています。
(栄養量：190kcal、蛋白質13g、食塩相当量0.6g)

【作り方】

- ① 野菜を薄切りにし、調味料を混ぜたものの中につけておく
- ② 魚に小麦粉とカレー粉を混ぜたものをまぶす
- ③ 油で揚げる
- ④ 揚げた魚も一緒に調味液につけ、味がなじんだら完成

● 学会発表

第33回岡山県作業療法学会

「多職種連携を促進する情報通信技術 (ICT) の臨床への有用性」 ～短時間通所リハビリテーションの2事例をとおして～

開催日:2021(令和3)年3月14日
場 所:Web学会



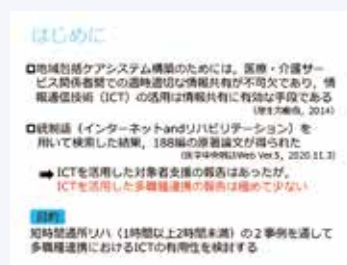
作業療法士
さの ひろかず
佐野 裕和

Web(インターネットを利用した環境下)で開催された本学会では、当院の短時間通所リハビリテーション利用者に対する、**ケアキャビネット**(情報通信技術)を活用した連携について報告いたしました。

実際のリハビリテーションの様子を、ケアキャビネットを用いて、多職種間で画像や動画を共有することにより、迅速な課題解決や、生活行為の向上につながった事例を報告いたしました。そして、質疑応答では、連携の中で工夫した点や、井原市におけるケアキャビネットの普及状況についてなどの質問をいただき、皆さんの関心の高さを強く感じました。

また、今回の発表では、研究内容が高く評価され、**学会長賞を授与**されました。

コロナ禍の状況においては、人と人との接触を極力避けた連携が求められるため、今後もケアキャビネットを有効に活用し、多職種間での効果的な連携を進めていきたいと考えています。



院内活動

● 職員研修

看護部教育委員会

看護師の教育訓練は、実際の日常業務の中で、経験豊富な先輩や上司の指導、助言を受けながら技術や知識を習得していく方法(OJT: On the Job Training)が主流ですが、当然のことながら、常に自己研鑽も重ねています。

今回の研修では、「**尿道バルーンカテーテル留置**」と「**おむつ装着**」を実施しました。「バルーンカテーテルの留置」は清潔操作が必要な技術であるため、挿入訓練は人体模型(シミュレーター)を使用して行い、「おむつ装着」は、実際に自分たちで互いに装着しあって、フィット感や違和感を体験しました。カテーテル留置のコツや、正しく装着された

おむつは全く違和感がないことなどが、改めてよくわかりました。

今回の研修内容は、患者さんの排泄に係る大切な技術です。これからも、しっかりと学習して、安全で安心な看護技術を提供できるよう頑張ってまいります。



● 委員会活動

感染対策チーム (ICT: Infection Control Team)



看護師
まつなが あやか
松永 彩香

手指消毒強化に向けて

ICT委員会では、毎月、看護職員の「手指消毒実施回数」を集計しています。消毒回数が減少している場合はその原因を考察し、検討結果を各部署へフィードバックして、消毒実施回数増加につなげていけるよう促しています。

しかし、職員の消毒薬に対する適合性もそれぞれに違います。そこで、個々人に合った消毒薬を使用できるよう

3種類の消毒薬を用意しています。それでも手荒れなどがひどく、消毒薬が使用できない場合は、流水による入念な手洗いを励行しています。

年度末には、手指消毒実施回数の多い看護師上位5名と看護助手1名を選出し、表彰しました。

これからも、患者さんはもちろんのこと、職員自身を守るためにも、より一層の手指消毒を行い、感染対策に努めてまいります。

「手指消毒回数最多」病棟看護師の実践例

日頃から「1処置/1手洗い/1手指消毒」を心掛けています。私たちの手指には、私たち自身がもっている微生物や、医療の現場などで触れた微生物が無数に付着しています。これらの微生物を、別の患者さんや医療機器などにつける行為が感染拡大の原因になるため、①患者さんに触れる前、②清潔、無菌操作の前、③体液曝露の可能性のあと、④患者さんに触れたあと、⑤患者さんの周辺の物品に触れたあと、これらの5つの瞬間を見逃さず、それぞれのタイミングで手指消毒を行うことが重要です。

院内感染予防一特に、感染症のアウトブレイク(集団発生)の予防一はもちろんのこと、自分の家庭内へのウイルスや細菌の持ち込みを防ぐためにも、引き続き手指衛生を徹底していきたいと思えます。



看護師
たに まさこ
谷 政子

「病院の日・看護の日」(ナイチンゲールの誕生日である5月12日)に合わせて、勤続15年の職員表彰を行いました。

受賞者の声

看護師長 佐藤 佳子



このたびは、勤続15年の表彰をいただき、心からお礼を申し上げます。
2005(平成17)年、井原市、芳井町、美星町の1市2町の合併によって新しい井原市が誕生した年に入職いたしました。私自身は、2人目の子供を出産後間もないころでした。初めての職場環境、急性期病棟での業務、夜勤業務、育児との両立で、不安やストレスで辛い日もありましたが、今回の表彰を機に15年を振り返り、改めてたくさんの方々を支えてもらっているのだと感じました。患者さんやご家族の笑顔と、あたたかいお言葉、そして当院の諸先輩方、同僚の皆さん、家族の支えがあったからこそ、この日を迎えることができたのだと感謝しております。
3人の子どもたちも成長し、母親の仕事を理解してくれており、何気ない気遣いや、言葉に励まされパワーをもらっています。
これからも、看護師の仕事をととして、一人の人間として、母として、成長していきたいと思えます。今後とも、ご指導のほどよろしくお願いたします。

資格取得

終末期ケア専門士



看護師 おかだ やえ
岡田 八重



私は、終末期や緩和ケアの看護の中で、今まで数多くの最期の場面に立ち会ってきました。しかし、そのたびに「私の対応や声かけは正しかったのか?」「本当に最善の最期だったのか?」と、考えるようになりました。これらの疑問を解決し、改めて学びを深めるために、「終末期ケア専門士」の資格取得に挑戦しました。
この資格は、2020(令和2)年に「終末期ケア協会」が創設した資格で、私が受験した試験が第1回目となりました。過去問題や対応策もない中での受験は、想像以上大変で、合格するまでとても不安でしたが、勉強していく中で、改めて「終末期」における、患者さんやご家族への対応や、他職種との協力の大切さを再確認することができました。このたび得た知識を他の看護師とも共有し、患者さんやご家族に安心していただける看護を、切れ間なく提供できるようにしたいと思っています。
看護業務は「日々の自己研鑽が重要」です。これからも、たくさんのごことにチャレンジして、さらに「質の高い安全で安心な看護」を目指してまいります。

先輩職員の声

入職してからの ふりかえり



看護師 佐藤 かおり

入職当初は1日の流れがつかめず、何をしても誰かの手と足を止めて、確認しなければならない日々でした。とても足手まといだったと思います。今でも分からないことはありますが、そのたびに皆さんに優しく教えてもらい、とてもありがたくなっていきます。これからも患者さんのお役に立てるよう、日々精進してまいります。



看護師 佐藤 凜歩

看護学校を卒業して、当院へ就職したばかりの頃は、初めて経験することが多く毎日不安でいっぱいでした。しかし、先輩看護師や他職種の皆さんの優しい指導と、患者さんやご家族の方からの「ありがとう」「頑張ってるね」という言葉や笑顔に支えられ、少しでも良い看護を提供できるようにと頑張ってきました。

私が働いている地域包括ケア病棟は、採血などの業務はもちろんのこと、患者さんの退院後の生活も見据えて、他職種のスタッフとも連携しながら、患者さんやご家族の方と関わっていかねばなりません。患者さんそれぞれの事情や思いに添った看護を提供していくことは、簡単なことではありませんが、とてもやりがいのある仕事だと感じています。

新入職員の皆さん、きっと不安なことも多いと思いますが、私自身もまだまだ未熟なところが多いので、一緒に勉強しながら頑張っていきたいと思います。



看護師 光成 伸元

気が付けば、入職後、もう1年がたとうとしています。
まだまだ失敗も多く、まわりのスタッフに助けてもらいながら頑張っています。
たくさんの方に支えられて今の自分があるのだと思っています。これからもどうぞよろしくお願いたします。



看護師 藤井 菜奈

入職当初は、仕事の中で自分がどのように動けば良いかわからず、焦ったり落ち込んだりする日々がありました。しかし今では先輩や同僚に支えられて、自分がなすべきことが分かるようになり、行動に移せるようになってきました。少しずつですが、できることが増えていると感じています。これからも患者さんから「信頼される看護師」を目指して、努力を続けていきたいと思っています。



診療情報管理室 主事補 医師事務作業補助者 三浦 典子

この1年間、わからないことも多く、先輩方に教えてもらい、助けられています。まだまだ勉強することがたくさんあると痛感しております。そんな中、新しいことにもチャレンジし、日々前向きに業務に取り組んでいます。

また、患者さんと接することも多く、いつも笑顔で丁寧に対応することを心掛けています。地域の皆さんに、安心して医療を受けていただけるよう、チーム医療の一員として努力し、少しでもお力になれるよう頑張りたいと思っています。

地域医療連携室

令和2年度

2020年度活動報告

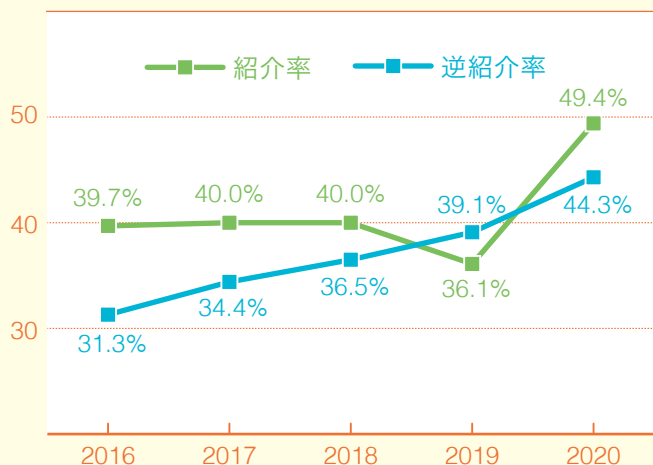


2020(令和2)年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、入院患者さんへの面会が制限され、ご家族はもとより、医療介護施設関係者の方々とも対面での連携が難しくなり、他の医療機関との転院調整やご家族や介護施設との退院調整がスムーズに進まず対応に苦慮しました。

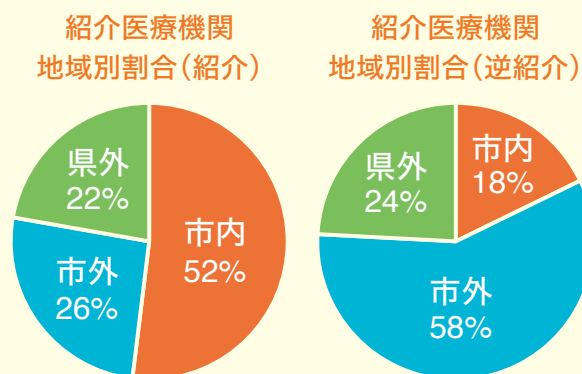
また、2014(平成26)年より継続していた医療介護ネットワーク「まいづる連携」も、2019(令和元)年12月以降、開催を見合わせる状況が続いております。

しかし、そのような中でも、医療ネットワークのひとつである「ケアキャビネット」(岡山県)や「むすびの和」(地域連携シート:井笠地区)などの情報共有技術を活用した地域の医療介護施設との連携を進め、患者さんやご家族と協力し合いながらの退院支援に努めてまいりました。

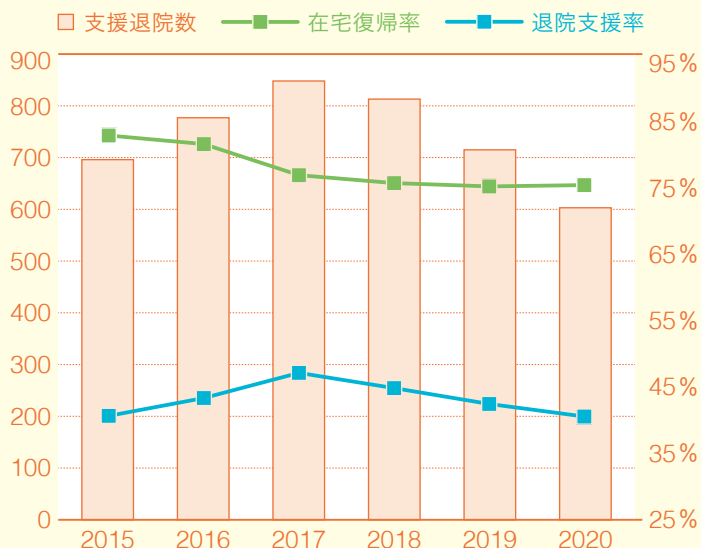
1. 紹介率・逆紹介率の推移



2. 紹介医療機関の地域別割合



3. 退院支援と在宅復帰率



4. 放射線科撮影依頼項目割合

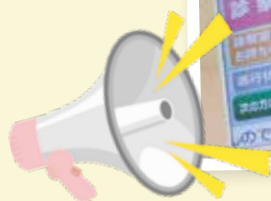
撮影依頼件数(紹介+共同利用)

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020
CT	217	179	160	185	181	139
MRI	213	169	145	196	200	181
骨塩定量	218	227	224	159	152	142
合計	648	575	529	540	533	462

コロナ禍の影響により、地域の皆さんの医療機関離れも懸念されましたが、市内外の医療機関から多くの患者さんをご紹介いただき、紹介率・逆紹介率ともに、前年度より増加する結果となりました。

今後も病院スタッフ一丸となり、地域における相互の連携を密にし、効率的な医療を提供してまいります。

お知らせ



今までの変更点

- ① 受付すると「受付票」と「番号票」2枚が出ます
- ② 受付票は各窓口へ、番号票はいつもご自分でお持ちください
- ③ 表示盤に自分の番号が表示されます



新!! 外来患者誘導システムを導入

2021(令和3)年4月26日より、患者さんへのサービス向上と、プライバシー保護を目的として、新しく「**外来患者誘導システム (Hospision®)**」を導入いたしました。外来患者さんには「受付番号票」を持って移動していただき、待合ホールでは、お名前ではなく**受付番号**でお呼びしています(診察室前のモニターに番号が表示されます)。

このシステムでは、各診察室や検査室内にて、お名前(フルネーム)と生年月日を確認させていただくため、患者さんの「**プライバシーが守られます**」。また、「いつ自分の順番がくるか分からない」「少し待合を離れた間に呼ばれたのではないか」「あとどれくらい待たばいいの?」などという不安も、大きな表示モニターを確認することで、解消されました。

実際に、「みんなの前で自分の名前を大声で呼ばれなくてよい」とのお声や、聴力に不安のあるご高齢の患者さんからは、「大きな文字でよく分かるね」とのご意見をいただきました。また、スタッフからも「診察順についての問い合わせが減った」「待合室が静かになった」「患者誤認の防止にもつながる」などの意見がありました。

今後も、待ち時間の短縮に努めるなど、患者さんへ十分配慮しながら業務を行ってまいります。お気付きのことをございましたら、お気軽にお声がけください。

学生実習

リハビリテーション科

2021(令和3)年4月5日~5月14日

専門学校川崎リハビリテーション学院理学療法学科3年生 みやなが ゆうせい **宮永 裕成**

私が今回の実習で経験した中で1番印象に残っていることは、治療やコミュニケーションを通じて患者さんが明るく喜んでいる姿です。その笑顔を見た時から、学ぶことがより一層楽しいと思えるようになりました。この経験を忘れず、これから先も様々な分野に興味を持ち、学んでいきたいと思います。

お忙しい中、充実した指導をしていただいた井原市民病院の皆さま、本当にありがとうございました。

吉備国際大学理学療法学科4年生 おだ あきひと **小田 彰人**

このたびは、臨床実習を受け入れていただき誠にありがとうございました。

私は、新型コロナウイルス感染症の影響により、病院実習が行われず、実技は大学の講義のみにとどまっていたため、実際の患者さんに対応させていただいた時は、スムーズに行くことができず、緊張しましたが、患者さんから励まみや、お褒めの言葉をいただくこともあり、とても嬉しかったです。職員の皆さんからは、お忙しい中、多くのご指導をいただき、理学療法についてはもちろんですが、人間としても成長できたと思います。

短い期間でしたが、とても勉強になりました。本当にありがとうございました。

災害時の調理 停電時に役立つ“パッククッキング”とは



栄養管理科長
西本 智子

皆さんは、「災害時の食の備え」は十分ですか？水や食品を非常持ち出し袋に用意されている方も多いと思います。9月1日は防災の日です。今回は、備えておくと便利なものや、停電時でも簡単にできる調理方法についてご紹介いたします。

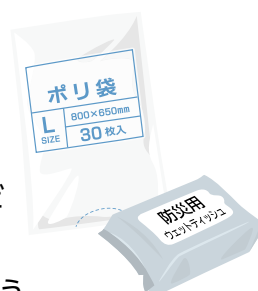
•防災袋に用意したい食品

- 水 2～3L(1人1日分)
- 調理せずに食べられる備蓄食料品
(アルファ米、レトルト食品、缶詰、野菜ジュース、パーティタイプの食品など)



•お役立ちグッズ

- ラップ、アルミホイル、ポリ袋、ウエットティッシュ
- 使い捨て手袋、輪ゴム、果物ナイフ、紙コップ、紙皿
- カセットコンロ、カセットボンベ、固形燃料、使い捨てカイロ、マスクなど



•持病のある方は…

- 薬を飲んでいる方は、避難する時に薬やお薬手帳も忘れずに携帯しましょう。

停電時でも簡単にできる調理方法(パッククッキング)

パッククッキングとは、食材をポリ袋(耐熱110℃以上)に入れ、湯煎する調理法です。カセットコンロ、鍋(大きめ)、水、ポリ袋があれば、簡単な食事が作れます。

米飯1人分	<ul style="list-style-type: none"> ・白米 1/2カップ ・水 1/2カップ 	やきとり(缶詰)を使った煮物	<ul style="list-style-type: none"> ・やきとり缶詰 1缶 ・じゃがいも 中1個 ・にんじん 20g
-------	---------------------------------------------------------------------------------	-----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

- ① 米を少量の水(分量外)で洗い、その水は捨てる。
- ② 分量の米と水をポリ袋に入れ、空気を抜いて上部を結ぶ。
- ③ 沸騰した鍋に②を入れ約20分間加熱し、火を止め10分蒸らす。



- ① じゃがいも、にんじんは皮をむき、小さめに切る。
- ② やきとり缶詰(汁ごと)と①をポリ袋に入れ、空気を抜いて上部を結ぶ。
- ③ 沸騰した鍋に②を入れ、約20分間加熱する。



災害時に、備蓄品と冷蔵庫の残り野菜で温かい物が作れるといいですね。

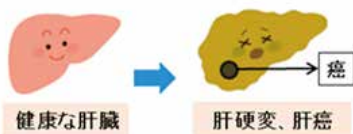


肝臓の機能は、主にアスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)、アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT) によって評価されます。ASTとALTは肝臓の細胞に多く含まれている酵素のことで、健康な人でも血液中に少量は存在しますが、肝臓の細胞が障害されると血液中に漏れ出てきます。ASTやALTが上昇する病気として、ウイルスや薬剤の影響により肝臓に炎症がおこる**肝炎**や、アルコールの飲みすぎによる**肝炎**、食べ物の影響による**脂肪肝**でもこれらの酵素が上昇します。特に最近話題になっている脂肪肝に、**非アルコール性脂肪肝炎**があります。これは、肝炎ウイルスなどの感染がなくても肝臓の線維化が進行していく脂肪肝です。**進行すると肝硬変になって、肝癌を合併することもある怖い病気**です。

肝臓は「沈黙の臓器」とも呼ばれ、障害が徐々に進行し症状が出る頃には手遅れになることもあります。肝機能の異常を認めたら、早期の診断と早期の治療が大切になります。最近、食生活の欧米化が様々な臓器に影響をもたらすようになりました。食生活の見直しや適度な運動を行うことで、健康を維持できるようにしていただければと思います。



臨床検査技師
たなか たつや
田中 達也



※肝硬変へと移行するイメージ

検査項目名(略称)	基準値
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)	13 ~ 30 U/L
アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)	男性：10 ~ 42 U/L 女性：7 ~ 23 U/L

※当院では、日本全国で標準化された共用基準範囲を採用しています。
※血液検査に関してご不明な点がありましたら、医師または当院スタッフまでお気軽にお尋ねください。

まいづる保育園

院内保育施設の様子を紹介します。

- 最大受け入れ可能人数：20人
- 2021(令和3)年7月1日現在の利用園児数：11人(一時預かり含む)
- 受け入れ可能日時
月曜日から土曜日(日曜日、年末年始(12/29から1/3)は休園)
7:30から19:00まで(基本保育) 19:00から20:00まで(延長保育)



上手につくれた!



6月 お誕生日会 /
ボール投げ遊び /
輪投げ遊び



お誕生日
おめでとう!



5月 ポール投げ遊び /
母の日のプレゼント /
5月の制作: ちょうちょ



いつもありがとう!



ご寄付をいただきました

地域の方からエレクトーンを寄贈していただきました。素敵な音色に子どもたちも喜んでます♪



健康講座のお知らせ

■ 健康教室 (偶数月 第3水曜日 11時30分～12時00分 外来待合ホール)

8/18 水 今日からできる誤嚥予防～嚥下障害について 担当：リハビリテーション科

10/20 水 ワクチンについて (仮) 担当：薬剤科

2/16 水 感染症に負けない食事について (仮) 担当：栄養管理科

※12月は不開催

■ 子育てサロン

講師：新見公立大学副学長、岡山大学名誉教授、岡山県感染症対策委員会委員 小田 慈 先生

9/17 金 14時30分～15時30分 外来待合ホール「子どもとコロナワクチン」

※お子さま連れでも大丈夫です。テーマ以外のことでもお気軽にご相談ください。

※各教室は「健康いばらチャレンジポイント」の対象事業です。
※新型コロナウイルス感染拡大防止や、業務等の都合により講師・内容等を変更・中止する場合があります。
最新の情報については、当院のホームページ等でご確認ください。



ボランティアの会「ひまわり」

マリーゴールドの植え替え作業

2021(令和3)年6月9日、梅雨の中休みに「ひまわり」の皆さんによるマリーゴールドの植え替え作業が行われました。現在は、すくすくと育ったマリーゴールドが夏空に映えています。

ボランティアの会「ひまわり」では、一緒に活動してくださる方を随時募集しています。ご興味ある方は、井原市民病院総務課までお気軽にお電話ください。(TEL 0866-62-1133)



院内絵画 No.⑧



テントのある風景(1964(昭和39)年作)
森 昌俊 P40 油彩・カンヴァス
展示場所：1階人間ドック診察室前

私の趣味

レンズの向こうに広がる井原の魅力



社会福祉士
せのおたくま
妹尾 拓馬

私の趣味は写真を撮ることです。2年ほど前に友人に勧められて、ミラーレス一眼カメラで写真撮影を始めましたが、最近ではフィルムカメラでの撮影にもはまっています。

地元井原市の綺麗な花や夕日など、今まで何も思わず見過ごしていたようなものにも興味を持つようになることが、写真を撮ることの魅力だと気づきました。

今はコロナ禍の影響により、友人との写真撮影や人の集まる場所での撮影はできませんが、情勢が落ち着けば井原市内だけではなく、日本中の有名な観光地にカメラを持って旅行に行きたいと考えています。それまでは、カメラの清掃やメンテナンスなどに勤しんでおこうと思います。



外来診療担当医表

診療科		受付時間等	月	火	水	木	金	備考
内科	午前 初診(予約外)	8:30~11:00	吉澤	岡大 岡田	島田	上坂	立古	
			岡大 池田	高山	立古	吉澤(予約有)	吉澤	
			梶谷(予約有)					
	再来(予約)	高山	吉澤	高山	島田	島田		
			島田	岡大 岡田(予約有)	岡大 下江			
			島田	岡大 岡田	岡大 下江	梶谷		
午後	予約のみ	高山	高山	高山	島田	島田		
			島田	岡大 岡田	岡大 下江	梶谷		
			吉澤		立古			
循環器内科	午前	8:30~11:00	岡大 吉田	齋藤大	徳永	齋藤大	徳永	急患の受付時間に関しては、左記の限りではありません。
	午後	13:00~15:00	徳永		岡大 斎藤幸	徳永(第1・3・5) 福山市民応援(第2・4)	徳永	
呼吸器内科	午前							医師の都合によりしばらくの間、休診とさせていただきます。
	午後	13:00~15:00	福山市民応援医師(第1・3)					
神経内科	午前	8:30~11:00 予約のみ					岡大 菱川(第1・3) 大田記念片岡(第2・4)	
	午後	予約のみ					岡大 菱川(第1・3)	
糖尿病内科	午前	予約のみ						
	午後	予約のみ						
消化器外科	午前	8:30~11:30	合地/小林	合地	小林	合地	小林	
	午後	13:00~15:00	川大 赤木(第1・3・5) 手術日	合地	手術日	合地(第1・2)	岡大 枝園	
乳腺外来	午後	予約のみ				岡大 松岡(隔週)		木曜日以外となる場合があります。
乳癌検診	午前	8:30~11:00 予約のみ	森崎	森崎	森崎(第2・4) 岡大 安部(第1・3・5)	森崎	原藤	第1・3・5水曜日の診療時間は10:00~12:30となります。
整形外科	午前	8:30~11:30	予約 平田	予約 平田	予約 平田		予約 平田	すべての曜日で予約がとれるようになります。 急患はこの限りではありませんが、それ以外では予約が優先されますのでご了承ください。
	午後			手術日		手術日		
脳神経外科	午前	8:30~11:30			川大 福原			
	午後	13:30~16:00	川大 目黒(第1・3・5)					
眼科	午前	8:30~11:30	岸本	岸本	岸本	岸本	岸本	ただし、木曜日の受付時間は11:00までとなります。斜視・弱視の診療は予約が必要です。
	午後	予約のみ	手術日	手術日・検査	手術日		予約 大月・岸本	
小児科	午前	8:30~11:30	井上	井上	井上	井上 診療時間 9:00~10:30	井上	木曜日午前の受付時間は10:00まで、診療時間は10:30までとなります。福山市民応援医師による診療は受付時間13:00~15:30、診療時間13:30~となります。
	午後	13:30~16:00 予防接種(月・木)	井上/福山市民応援医師 予約 [予防接種] 受付時間 13:30~15:30	井上(15:00~16:00) 予約 [乳児検診] 受付時間 14:00~15:00	井上	福山市民応援医師 予約 [予防接種] 受付時間 13:30~15:30	井上	
耳鼻咽喉科	午前	8:30~11:30	岡大 岡野(第1) 岡大 赤松(第3)		岡大 安藤			初診は紹介患者のみです。
	午後	13:00~14:00	岡大 岡野(第1) 岡大 赤松(第3) 補聴器相談(第1)		岡大 安藤			
婦人科	午前	8:30~11:30			予約 岡大 増山		予約 岡大 早田	一般診療は予約無しでも受け付けますが、予約優先です。
	午後	13:00~14:30			予約 岡大 増山		予約 岡大 早田	
泌尿器科	午前	8:30~11:30	龍治		龍治	龍治		一般診療は予約無しでも受け付けますが、予約優先です。
	午後	13:00~14:30	龍治		龍治	龍治		
皮膚科	午前	8:30~11:30		川大 浅沼			川大 藤田	一般診療は予約無しでも受け付けますが、予約優先です。
	午後							
リハビリテーション科	午前	8:30~11:30			予約 岡大 派遣医師	予約 中角		
禁煙外来	午前	完全予約制				予約 中角 診療時間 11:00~12:00		
内視鏡検査	午前	胃(上部)	島田	八木	岡大 赤穂	チクバ外科応援 医師	岡大 濱田	
	午後	大腸(下部)	合地/小林 梶谷	合地/小林 八木	梶谷 岡大 赤穂/梶谷	高山/小林 チクバ外科応援 医師	梶谷 岡大 濱田	
放射線科	午前		○	○	○	○	○	
	午後		○(岡大 黒田) ○(岡大 冨田)	○(岡大 黒田)	○	○(岡大 平木)	○(岡大 黒田)	

■自動再来機の受付時間 8:00~ ■面会時間 13:00~20:00 ■診療時間 午前/9:00~(婦人科、皮膚科 ※金曜日のみ 9:30~) 午後/13:00~(脳神経外科13:30~、小児科14:00~)
 ■休診 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12/29~1/3) ■電話予約 月曜日~金曜日 13:00~17:15 ※ただし、急患の場合はこの限りではありません。



井原市立井原市民病院
 〒715-0019 岡山県井原市井原町1186番地
 TEL 0866-62-1133(代) FAX 0866-62-1275(代)
 ホームページ <http://www.ibarahp.jp/> 電子メール byoin@ibarahp.jp

2021(令和3)年8月発行
 発行責任者:合地 明